

重点施策点検・評価表

4-1、4-2

基本目標			
4	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充		
重点施策			
1	スポーツ関係団体との連携・支援を強化し、生涯スポーツを推進する		担当課(館)
	① スポーツ関係団体との連携・支援		スポーツ振興課
	活動内容	体育施設の指定管理者である体育協会、市内3地区の総合型スポーツクラブと連携を図り、市民のニーズに応えるきめ細かいスポーツ事業を展開する。 今年で5回目を迎えるチャレンジデーは全市民的に生涯スポーツを推進する大きな機会であることから、さらなる広報・啓発活動を実施し、スポーツの習慣化へのきっかけ作りに位置付け、推進する。また、各種大会等の開催にあたり、主管競技団体の高齢化や会員不足により、従来の取り組みが難しくなっている現状から、各競技団体との意見要望を踏まえ、支援も含め、市スポーツ振興の基盤である競技団体との連携を図っていく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	市の競技団体を統括し、また体育施設の指定管理者である体育協会と連携を図り、助言、指導に努めることにより、体育協会の自主事業の開催、チャレンジデーへの参画など、地域単位、町内単位での生涯スポーツの推進が図られた。 また、陸協が主管する山田記念ロードレース大会や比内駅伝、スキークラブが主管する市民スキー大会などにおいて、市又は実行委員会で運営ボランティアの募集・活用することで、人的支援が図られた。	
学識経験者等の意見	市内の総合型スポーツクラブ(BTO、ひない、たしろ)の活動については、BTO(ブレイジングトルシーダ)はすでに自立し、活動も順調であるが、後発のひないスポーツクラブ及びたしろスポーツクラブについては、地域スポーツ活動の中核団体として活動しているものの、両スポーツクラブとも、会員の確保が進んでいない状況である。自立に向けて、市として指導、助言に努めたい。		
学識経験者等の意見	チャレンジデーを含めて、スポーツの習慣化へのきっかけ作りの推進は、健康寿命延伸の取り組みとして重要である。ひない及びたしろスポーツクラブの支援にあたり、各クラブの特徴・資源を生かしながら、自立に向けステップアップできるよう、継続した指導・助言をお願いする。		
2	スポーツ少年団や地域スポーツ指導者の発掘・育成に努める		担当課(館)
	① スポーツ少年団指導者や地域スポーツ振興に資する人財の発掘・育成		スポーツ振興課
	活動内容	スポーツ少年団の社会体育化によって、指導者の確保が大きな課題である。毎年スポーツ少年団の指導者研修には多くの保護者が参加され、資格を有し、活動を支えているものの、専門的な指導者の確保は困難な現状である。地域のスポーツの振興には、スポーツ推進委員がその役割を大きく担っており、より専門的な指導者が求められている。スポーツ推進委員への研修機会提供による資質向上や地区公民館との連携により広く人財を求め、スポーツ指導者の育成・発掘に努める。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	今年度もスポーツ少年団活動の現地視察を市スポ少本部と実施し、現状把握と指導者要望に対応してきた。また、スポーツ少年団指導者の相互連帯、指導力向上を目的として、市スポーツ少年団設置規程が一部改正され、スポーツ少年団指導者協議会を設置した。地域スポーツ振興へ大きな役割を担うスポーツ推進委員においては、各地区スポーツ事業へ中心的に参画し振興を図っている。	
学識経験者等の意見	社会体育化5年目を迎えるスポーツ少年団活動であるが、学校団においては保護者父兄の指導者が中心であり、どうしても短期間になりがちである。スポーツ少年団指導者協議会を通じて、長期的な指導者の育成、定着を図っていく必要がある。		
学識経験者等の意見	現状、多くのスポーツ少年団が指導者イコール保護者で運営されている。スポーツ少年団指導者協議会を通じて、指導の継続性が子どもたちの成長に有用であることを訴えて、今後も長期的な展望をもって指導者の育成に取り組んでもらいたい。		

重点施策点検・評価表

4-3、4-4

基本目標			
4	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充		
重点施策			
3	2020東京オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業を推進する		担当課(館)
	① 2020東京オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業の推進		スポーツ振興課
	活動内容	2020東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けて、県と連携し、タイ王国を相手国としたホストタウン事業を推進する。今年度、タイ王国を訪問し、事前合宿誘致活動を展開するほか、駐日大使館の視察招致などを実施、事前合宿の基本合意締結を目指す。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 平成28年12月9日、タイ王国を対象とした東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録された。7月に教育長がタイスポーツ庁セミナーに参加し、各競技団体に事前合宿誘致に向けた市の特徴をPRしたほか、11月に市長がタイバレーボール協会及びタイパラリンピック委員会を訪問し、事前合宿の視察要請など招致活動を展開した。 また、パラリンピック関連の受入れ確認のため、日本ボッチャ協会関係者を招致し、競技及び宿泊施設の視察を実施した。 事前合宿誘致活動への理解、誘致に向けた市民の機運を盛り上げるため、「オリンピック・パラリンピック等経済界協議会」の協力を得て、「タイ王国ホストタウン向け異文化教室」を開催した。	
	課題等	タイバレーボール協会及びタイパラリンピック委員会との折衝窓口はできたものの、さらなる折衝が必要な状況である。 事前合宿誘致のみならず、交流計画に基づき、教育・文化・スポーツの相互交流事業の取り組みを推進する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	タイバレーボール協会及びタイパラリンピック委員会とコンタクトが取れたことは、活動が前進していると感じている。東京オリンピック・パラリンピック開催の機運醸成のため、市民を巻き込んだ事業を企画するとともに、事前合宿受け入れに向けた取り組みを進めていただきたい。		
4	大会や合宿を誘致し、スポーツツーリズムによる地域活性化を推進する		担当課(館)
	① スポーツ大会や合宿誘致などのスポーツツーリズムによる地域活性化の推進		スポーツ振興課
	活動内容	大型体育施設を活用した、大会、イベント、合宿誘致などのスポーツツーリズムを推進するため、より積極的な活動を行う。スポーツイベント誘致を促進するため、補助金制度を拡充する。また、合宿誘致では、継続して東京、北海道等での直接勧誘や誘致用パンフレット作成・配布を行い、PR活動に努め、スポーツツーリズムによる地域活性化を図る。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 東京都、北海道などで競技団体、大学、高校への誘致活動を行ったほか、市及び秋田県ホームページなどへの掲載、北海道・東北地区の大学などへのパンフレット送付等広報活動を実施した。また、他課からの紹介などの市内連携により、19団体、358人の利用があった。 また、スポーツイベントについては、4月の「バスケットBリーグ大館大会」(4,500人)、8月の「第44回東北総合体育大会(ミニ国体)」(7,450人)、12月の「ベースボールクリスマス2017 in秋田」(10,000人)が開催され、22,000人ほどの誘客が図られた。	
	課題等	合宿誘致については、平成28年利用団体の継続利用と新規利用団体の増加により順調に推移している。今後も、対外的なPRと並行し、地元スポーツ、文化団体にも情報提供し、情報を発信していただくことで更なる利用促進を図る。 スポーツイベントについても、体協及び各単協と連携を図りながら、引き続き誘致を進める。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	合宿誘致について、市民の施設利用にも配慮しながら、推進していただきたい。また、誘致数の増加要因を掘り下げて分析し、今後の誘致活動のヒントとしてさらなる誘客に努めてもらいたい。		

重点施策点検・評価表

4-5、4-6

基本目標	
4	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充
重点施策	
5	近隣市町村と連携し、スポーツ施設の広域利用を推進する
	担当課(館)
	① 近隣市町村との連携したスポーツ交流の推進
	スポーツ振興課
活動内容	競技力向上やスポーツ機会の提供を図るため、近隣市町村と連携し、スポーツ施設の相互の広域利用を推進する。近隣市町ならではの体育施設(ニプロハチ公ドーム、パークゴルフ場、屋内プール、スキー場等)でのイベント等を、連携して互いの活用を検討、スポーツ交流を推進する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 長根山陸上競技場の2種公認更新に係るトラック改修工事による大会の開催地変更により、代替として北秋田市陸上競技場や鹿角市陸上競技場で大会が実施された。必要な備品等の貸し出しを行った。 12月にニプロハチ公ドームで開催された「ベースボールクリスマス2017in秋田」では、県有施設でのイベント開催の観点から、県北圏域でのイベント周知を働き掛けた。今後、プールやパークゴルフ場等相互利用の取り組みを検討する。
課題等	少子高齢化、人口減少により各自治体で主要な体育施設を新たに整備することは困難な状況にあることから、施設の広域利用を推進する。 大規模なスポーツイベントや互いの施設の有効活用を図るべく、情報共有し担当部署レベルでの協議を促進する。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	各単協と連携を図りながら、スポーツ交流に係る近隣市町の施設活用を意図的に進めていきたい。ネーミングライツが運用されている施設について、施設名称が浸透するよう周知に努めてネーミングライツ・パートナーの期待に添えるよう高めたい。
6	多様なニーズに対応したスポーツ・レクリエーション活動の環境整備に努める
	担当課(館)
	① 花岡総合スポーツ公園及び二ツ山総合公園子どもエリアの整備、老朽化体育施設の統廃合
	スポーツ振興課
活動内容	・広域的なスポーツ交流の拠点として、花岡総合スポーツ公園の整備計画を推進する。 ・二ツ山総合公園のアスレチック広場跡地に水遊び場や総合遊具、トイレを設置するなど、子どもエリア(仮称)を総合的に整備する。 ・老朽化が進む体育施設について、統廃合を含めた整備計画を作成する。また、29年度2種公認検定を迎える長根山陸上競技場の公認継続への計画的な整備を行う。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) ・花岡総合スポーツ公園において、旧大館工業高プールを改修整備し、7月16日より多目的プールとして利用開始した。また、多目的運動広場、多目的室内運動場についても、7月より利用開始した。 ・二ツ山総合公園幼児エリア整備事業において、造成及び建築実施設計、造成及び建築工事を実施した。30年度において、植栽等公園工事を行い、30年7月一部オープン(水遊び広場)に向け、事業を進捗させている。 ・長根山陸上競技場第2種公認継続事業について、29年度トラック改修工事を実施し、8月28~29日の検定を受検し、公認が更新された。(公認期間:5年間(H29.9.1~H34.8.31))
課題等	花岡総合スポーツ公園について、施設整備に向けて整備計画を策定する。 市民体育館、武道館など老朽化が進んでいる体育施設について、解体等に伴い、利用者との意見交換を実施し、利用者の再配置を実施する。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	廃止を計画している老朽化体育施設について、利用者の再配置が課題となるが、既存利用者のニーズに応えられるよう配慮に努められたい。 二ツ山総合公園幼児エリア整備について、子どもの目線で整備しようとする市の姿勢を評価したい。